

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-134	A-141	24-102	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳）			
Predictors of alcohol use disorder risk in young adults: Direct and indirect psychological paths through binge drinking 若年成人のアルコール使用障害リスクの予測因子：過度の飲酒による直接的および間接的な心理的経路			
執筆者			
Mauduy M, Maurage P, Mauny N, Pitel AL, Beaunieux H, Mange J.			
掲載誌			
PLoS One. 2025 May 9;20(5):e0321974. doi: 10.1371/journal.pone.0321974.			
キーワード			PMID
アルコール摂取、アルコール依存、社会心理学、大学生			40344149
要旨			
<p>背景：アルコール使用障害（AUD）リスクは大学生に非常に多く見られ、個人内（メタ認知、性格特性など）および個人間（社会的動機、飲酒アイデンティティ、飲酒規範など）の両方の心理的要因と関連している。過度の飲酒（BD）も若者に広く見られる飲酒パターンであり、AUD リスクとは異なり、主に個人間要因によって予測される。BD 自体が AUD のリスク要因であるため、直接パス（BD とは独立した個人内/個人間要因を含む）と間接パス（個人間要因が BD を通じて AUD リスクを増大させる）を組み合わせ、AUD リスクへの二重心理的パスモデルを検証した。</p> <p>方法：フランスの 2026 人の大学生（Mage = 20.46、SD = 2.82、女性 67.42%）を対象としたオンライン調査で、BD および AUD リスクを予測する幅広い心理的要因を評価した。パーセントイルブートストラップ推定値を用いた多変量媒介モデルにより、これらの心理的要因が AUDIT の 3 つのサブディメンション（アルコール摂取量、依存症状、アルコール関連問題）に及ぼす直接的および間接的（BD 経由）影響を検証した。</p> <p>結果：AUD リスクへのデュアルパスモデルが支持され、これは、主に BD とは無関係な個人内要因（対処動機、抑うつ症状、制御不能信念など）の影響を受けた直接パスと、主に BD を介した個人間要因（社会的動機、向上動機、飲酒規範など）の影響を受けた間接的な BD 媒介パスで構成される。</p> <p>結論：直接的/個人内リスク要因と間接的/個人間リスク要因を組み合わせ、この新しいデュアルパス概念化により、若者の AUD リスクの主要な心理的決定要因が特定され、AUD リスクの新たな予防手段が提供される。</p>			